

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立音楽堂
 指定管理者 財団法人神奈川芸術文化財団
 施設所管課 県民部文化課

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月18日	改善すべき業務等なし
5月	6月10日	6月19日	改善すべき業務等なし
6月	7月10日	7月21日	改善すべき業務等なし
7月	8月10日	8月21日	改善すべき業務等なし
8月	9月10日	9月18日	改善すべき業務等なし
9月	10月13日	10月23日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

利用者サービス向上を図るため以下の対応等を提案した。

- ①開館日・時間の柔軟な設定
- ②苦情の多い来館者用女性トイレの数不足などへの人的ソフト面での対応

<実施状況>

- ①休館日の臨時開館(6日間)、早朝からの開館(午前8時台、計16日間)
- ②工事では来館者用の女性トイレの数増と男女トイレの改修をおこなったが、なお不足しがちな女性トイレについては、主催公演時には引き続き人的な誘導案内を行っている。

<提案内容の概要>

音楽堂の設置目的と歴史を深く理解し、ノウハウ等を活かした事業企画の実施を提案した。

- ①音楽堂の特性とノウハウ等を活かした企画事業の実施
- ②鑑賞型の公演に付随したアウトリーチ・プログラム等の実施
- ③外部資金確保の努力

<実施状況>

- ①第16回神奈川国際芸術フェスティバル～明日への祝祭！音楽堂開館55周年記念横浜開港150周年「クラシックな休日を♪」では一柳慧の新作ピアノ協奏曲(ピアノ:山下洋輔)を初演。また、夏の普及型公演を実施。
 5月 音楽堂ウィルトホーヴ・シリーズマリア・ジョアン・ピリス 入場者数980名(チケット完売)
 8月 大野和士のオペラ・レクチャーコンサート 入場者数1,004名(チケット完売)
 8月 東京交響楽団「あッ！ベートーヴェン。Vol.1.8」入場者数947名(チケット完売)
 上記を含む自主事業6演目8公演(アウトリーチ及び公開リハーサルを含む)、共催事業10演目18公演を実施
- ②主催公演に関連したアウトリーチ、音楽堂での公開リハーサルを実施。
 また公演時にプレトークや終演後の交流会、ロビーサイン会を実施
 6月 子どもと楽しむ夏・音楽堂 藤原真理チェロ・コンサートのアウトリーチ
 横浜市立下永谷小学校体育館 入場者数138名
 8月 「あッ！ベートーヴェン。」の公開リハーサル 県内中学生対象 入場者164名
 公演の制作過程や当日の様子等をホームページブログ「音楽堂日記」で情報提供。
- ③3団体から計1,400万円の助成金獲得を内定。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	224,522	190,522	34,000	0	188,852	0
上半期計 (a)	132,524	90,330	16,940 (13,173)	25,254	115,704	16,820
下半期計 (b)						
4月	12,319	11,132	1,126 (2,145)	61	7,491	4,828
5月	22,709	17,312	3,219 (2,813)	2,178	21,602	1,107
6月	27,171	18,698	2,070 (1,987)	6,403	26,679	492
7月	18,154	13,673	4,473 (3,164)	8	15,008	3,146
8月	29,302	15,562	2,453 (3,064)	11,287	24,107	5,195
9月	22,869	13,953	3,599 (0)	5,317	20,817	2,052
合計 (a+b)	132,524	90,330	16,940	25,254	115,704	16,820

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

利用料金収入(4,000千円)、チケット収入等の文化事業収入(3,000千円)等による収入増約12,000千円と、光熱水費の削減(1,200千円)等の経費節減により収支差額が16,000千円となっている。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	72,477人	73,290人	△1.1%
4月	5,281人	11,106人	△52.4%
5月	10,829人	9,600人	12.8%
6月	15,715人	12,902人	21.8%
7月	16,093人	16,078人	0.1%
8月	15,509人	23,604人	△34.3%
9月	9,050人	耐震補強工事のため休館0人	—
下半期計 (b)	人	人	%
合計(a+b)	72,477人	73,290人	△1.1%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	0	0	0	0	3	3
5月	0	0	0	0	21	21
6月	0	0	0	0	4	4
7月	0	0	0	0	8	8
8月	0	0	0	0	100	100
9月	0	0	0	0	5	5

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
月			
月			
月			
月			
月			
月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トイレの数が少ない(48件)	耐震補強工事に併せて実施した客用女性トイレの増、男女トイレ改修工事などへの良い反応も多いが、混雑時は、引き続き客用トイレ内に案内整理の人員を配置し、対応している。
	・座席が狭い(38件)	建築構造上、変更改修は難しい。
	・空調が良くない(13件、全て8月)	引き続き催し物や入場者数に応じて空調・換気の微調整により対応。空調設備改善のための対応を検討中。
	・エレベーター・エスカレーター設置、バリアフリー化の要望(11件)	施設の構造上、対応は難しい。
職員対応	・	
事業内容		
その他	・利用料が高い (2件)。 ・後納にしたい (2件)。	・利用料金の変更は難しい。 ・県立音楽堂条例上、前納規定があるため、条例改正が必要であり実現は難しい。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
6月28日	<ul style="list-style-type: none"> 共催事業の来場者（80歳女性）が客席内の階段で転倒右上腕を骨折。後日、入院手術の後、通院中。 ○公立文化施設災害補償保険の見舞金で対応。 客席の段差に反射テープを追加した。
9月12日	<ul style="list-style-type: none"> 貸館観客（77歳男性）が開演中暗い中客席の段差で転倒。救急車に出動要請。アキレス腱の断裂。 ○公立文化施設災害補償保険の見舞金で対応。 客席の段差の反射テープを追加するとともに、あわせて、小型の照明設置を検討中。

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		該当なし。	

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強工事は終了し、4月初め17日間の保守点検と準備の後、再スタートした。施設維持、貸し出し、事業実施など順調に業務を遂行している。 耐震補強工事中に併せて実施した改修工事により、客用女子トイレの数の増、ロビー空調の更新など改善できた点もあるが、施設・設備等の老朽化により、各種保守点検での指摘事項や、小破確認小修繕も多数出ている。 また高齢者がホール内でけがをする事故もあいついでいる。 内容を精査し優先順位をつけて、随時更新・修繕を検討すると共に、細かな工夫を重ね、安全で、少しでも快適なホールであることを目指している。 利用者の要望に応え、開館日や利用時間など可能な限り弾力的な対応をし、利用料収入増につなげている。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強工事は終了したが、老朽化が進む施設であるため、施設・設備の保守・点検について万全を期し、来場者等の安全、安心が確保できるよう留意し、施設・設備面での制約を踏まえつつ、引き続き施設特性を活かした管理運営に努める必要がある。 主催事業においてチケットが完売となるなど、県民の鑑賞ニーズに的確に応えようとする努力が効果として現れている。 多様化する施設利用者、来場者の要求にこたえ、利用率、利用者数、利用料金収入の向上につなげる努力が引き続き必要である。 音響の良さや建築学的価値から特別な芸術空間として広く親しまれている音楽堂という中規模ホールにふさわしい公演を実施することが引き続き期待される。